

◆◆◆仙台市人事委員会メールマガジン ～働く自分をイメージしよう！～ 2023/11/24◆◆◆

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（大学卒程度（事務職））インタビューをお届けします！

.....
今回は、こども若者局こども支援給付課の植野 陽南子さん（事務職入庁5年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

1. 入庁してからの異動歴を教えてください。

平成31年4月～令和4年3月 若林区保健福祉センター保護課

令和4年4月～現在 子供未来局子供育成部子供支援給付課

（令和5年4月 こども若者局こども家庭部こども支援給付課に組織改正）

2. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

事務職が15名（課長、係長含む）、通年で業務にあたっている会計年度任用職員が10名、繁忙期に増員される会計年度任用職員が5～7名程度です。

正職員は20代～30代の若手が多く、異動や転職経験のある職員がほとんどです。

3. 現在携わっている事業（業務）の内容を教えてください。

ひとり親家庭の支援に関する事業や子どもの居場所づくり（子ども食堂や子ども第三の居場所など）に関する事業を主に担当しています。契約や支払い、庁内外への広報、視察対応、事業者や関係機関とのやり取り、予算要求、新規事業準備など業務は多岐に渡ります。また、国・県への補助金申請、課内庶務なども担当しています。

4. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

〈外部での打ち合わせのある日〉

8：30～9：00 メールチェック、その日の業務の確認

9：00～12：00 事務作業、電話対応、上司への相談など

12：00～13：00 昼休み

13：00～13：15 局長・次長の決裁時間

13：15～16：30 子ども第三の居場所開設希望団体と打ち合わせ、現地見学（公用車で移動）

16：30～17：00 打ち合わせ後に資料をまとめる

17：00～17：15 残務整理、次の日の業務準備など

5. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

すぐ目に見える成果がなかなか出にくい仕事ですが、市民の方や庁内外の関係者の方から「ありがとう」や「助かった」という言葉を聞いたときや複雑な問題が少しずつ解決に向かったとき、そして何よりも子どもたちのキラキラした笑顔を見たときにやりがいを感じます。

6. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

新規採用時は生活保護のケースワーカーをしていました。大変な仕事という印象が強く、採用初日は帰宅後に大号泣(今となればいい思い出です)。

配属後は指導担当の先輩が付いて、諸々の引継ぎを受けた後、3日目からは電話対応、窓口対応、その週末には先輩同行で家庭訪問にも行きました。業務に慣れてきても次々不明点が出てきたので、自分で調べながらも周りにすぐ相談しました。市民対応や量の多い事務処理で苦戦することも多々ありましたが、課内のみんなに励まされながらなんとか乗り切っていました。

7. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

入庁前は役所の事務職というと「お堅い」イメージでしたが、気さくで話しやすい方や明るい方、物静かに見えても話してみると面白い方が多いです。また、担当業務にもよりますが、事務職といえど事務処理だけではないので、市民対応や庁内外との調整のためのコミュニケーション能力が重要です。

8. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけば良かったと思うことはありますか。

大学の卒業論文作成と教員免許取得のための授業や実習と並行しながら、サークル活動や旅行など思い出作りをしていました。また、仙台市で働くにあたって地理感覚がある方がいいと思ったので、市内の各地に足を運んだり、イベントに参加したりしていました。その時培われた地理感覚は、今でもかなり役立っています。

9. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます！

個人的には仙台市職員として「なんでも面白がれる」ことが大切かと思います。大変なこともあるかと思いますが、いろいろなことに興味を持って、前向きに取り組むことが出来れば、素敵な仙台市職員LIFEを送れるかと思います。

皆様と一緒に働けることを楽しみにしております！

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。